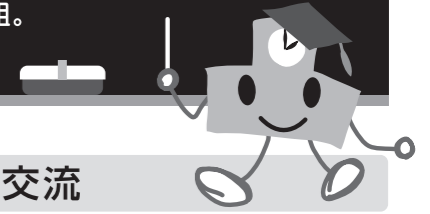


中学校の事例 手稲区 稲積中学校

# ボランティアを募って清掃活動。年代の違う地域の方との交流をとおして環境意識が高まる。

稲積公園の清掃や幼稚園・保育園へのボランティア活動等をとおして、様々な年代の人たちと交流・活動することで、社会の一員として地域を愛し身のまわりの環境を考えるきっかけとなる取組。



## 内容 清掃やボランティア活動をとおして地域と交流

本校では、学校の目の前にある稲積公園の清掃をはじめ、様々な形で地域の人たちと交流している。稲積公園の清掃は、平成9年に12期生徒会が始めた取組で、町内会の方たちも毎回10名ほど参加してくれて、一緒に行っている。以前は年に1回の活動だったが、今年度から清掃活動の方法を見直し、年に3回、学期ごとに各学年が担当し、有志を募って行っている。参加はボランティアとしているが、呼びかけると5~6割の生徒が参加する。2年生は雪解けの時期に実施したが、市の土木センターでも清掃を行っている。冬には生徒会でボランティアを募集して、1・2年生を中心に約120名の生徒が放課後の2時間程度を

利用して、いなづみ幼稚園に行き、園児と一緒に雪像や多方向に滑ることができるように工夫したすべり台や迷路を作る活動に取組んだ。園児からお礼にももらったカレンダーやメッセージカードが学校の廊下に飾られており、常に中学校と幼稚園のふれあいが感じられる。また、幼稚園とは生徒の保育体験の交流も行っているが、平成24年度に幼稚園が閉園になってしまうので、今後はこれにかわる活動を考えたい。そのほかにも、手稲連合町内会と青少年健全育成会などが稲積公園で開催する地域の冬まつりへも参加している。これは今年で3回目のおまつりで、地域にある北海道工業大学、小学校、幼稚園も参加し、かまくら作りや、豚汁の配膳の手伝いをして地域との交流を深めている。

## 今後 人と人との関わりをとおして自然を大切に育てる

自分たちの暮らしている地域の、様々な年代の人たちと交流し、一緒に活動することで、人と人との関わりを意識し、社会性が身につけてきている。また清掃活動により、動植物や自然にも目を向けるようになり、自然を大切に育つ優しい心が育っている。これらの活動をとおし、社会の一員として地域を愛し、身のまわりの環境を考えるきっかけとなっている。



清掃活動のようす

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪

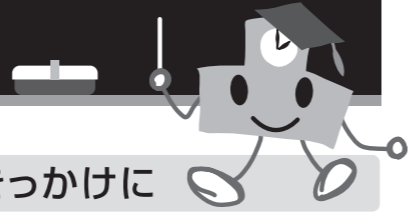
実施校から  
メッセージ

活動の中には、結果がすぐ出て、目に見えるものと、継続して行わなくてはならないものがありますが、生徒たちは行事をひとつひとつ体験し、乗り越えることで成長していると感じています。これからもいろいろな経験をすることで、一人一人の生きる力や、成長段階での基礎を身に付けてほしいと願っています。

中学校の事例 南区 簾舞中学校

# 全校で地域を清掃。歴史ある美しい地域の自然を守る第一歩としての取組。

ごみの分別をしながら清掃活動に取組み、地域の人たちから感謝されることで、信頼関係を築く。実体験から環境意識を高め、自発性を養う。



## 内容 研究開発事業研究モデル校になったことがきっかけに

本校は平成19年度から21年度まで3年間、札幌市研究開発事業研究モデル校として、自ら働きかける環境教育に取組んでおり、現在も様々な環境活動を実施している。その一つが、校区内の歩道の清掃活動である。清掃活動は春と秋の年2回、総合的な学習の時間を利用して行う。平成22年度は4月と10月に全校生徒が学年ごとに場所を分担して、軍手をはめ、火ばさみとごみ袋を持ち、ごみ拾いを行った。拾いながらごみを分けることで、分別の仕方も同時に学んでいる。

また、2年生は、総合的な学習の時間に環境について学習している。3R(リユース、リデュース、リサイクル)に関してなど、一人一人テーマを決め、インターネットや図書室の本などを使い、詳しく調べる。分かったことなどは「環境新聞」としてまとめ、掲示している。ごみを分別する必要性など、清掃活動の実体験が、環境新聞を作る際、単に知識を得るだけではなく、エコや環境についてのより深い理解へと結びついている。

## 今後 地域から届く感謝の言葉が励みに

清掃中に「がんばってね」と励ましの声をかけてもらったり、町内会からはお礼の手紙が届いたり、地域の方に大変喜んでもらっており、生徒や学校の取組が高く評価されている。生徒は直接、感謝の言葉をもらうことで、人の役に立っていると実感でき、自信をもてるようになった。信頼されることで、「その思いに応えたい」という気持ちが芽生え、意欲の向上にもつながっている。こういったことから、ごみ拾いやごみの分別が、イベント的なものではなく日常的な行動へと結びついている。また、ごみ拾いは身近な地域の自然や環境を見つめ直す機会となっており、今まで以上に自然や環境を大切にしようという姿勢が育まれている。

今後は環境保護への取組に対し、生徒の自発的な行動や考えが生まれることを期待したい。時には思いもよらない発想が出てくるかもしれないが、その考えを大切に環境活動に取組んでいきたい。



清掃活動のようす

広げよう  
つなげよう  
環境学習の輪

実施校から  
メッセージ

今後は、150年もの歴史がある学校周辺の豊かな自然を活かせる取組を行っていきたくです。地域だけではなく、区内や市内全域までにも広がり、豊かな自然をアピールできる取組とはなにかを生徒たちと考え、挑戦したいと考えています。